

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	書道探究	2	3年次・L1	選択

目 標	履修の条件・連絡
書道に関する専門的な学習を通し、感性を磨き創造的な表現と鑑賞能力を高めるとともに書道文化を尊重する態度を養う。	・1年次に書道Iを履修し、さらに深めようとする者が望ましい。

使用教科書 (出版社)	墨心 (教育出版)	副教材 (準備物)	大筆
----------------	--------------	--------------	----

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
	1 学 期	4月	1 篆書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の歴史について理解し、リズムカルで躍動感あ触れる表現を意識する。 筆触を感じながらゆったりと運筆する。 龍門造像記の歴史とその背景を知る。 方勢、円勢の特徴について理解する。
		5月	2 隸書の学習	
		6月	3 楷書の学習	
2 学 期	7月			
	9月	4 行書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 顔真卿の書について時代背景を踏まえた鑑賞をし、表現に繋げる。 書聖王羲之の書の果たした役割と影響を理解し、作品を鑑賞する。 現代の新しい表現を鑑賞し、制作意図が作品に反映するよう活動する。 	
	10月			
11月	5 漢字仮名交じりの書			
3 学 期	12月			
	1月	6 鑑賞	・相互鑑賞により他者の良さを認め合う。	

学 習 評 価	観	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	規 準	書を愛好し、書の文化と伝統を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わえたか。	感性を働かせて書の良さや美しさを感じとり、個性を生かして豊かに発想し、創造的に表現を追求できたか。	個性豊かに創造的な表現をするために、素材を生かした効果的な表現の技能を身に付いたか。	書の美の多様性と作品の特徴を把握し、日本及び中国等の書の伝統と諸文化との関連などを理解し、その良さや美しさを個性豊かに味わえたか。
	手 段	・制作の様子 ・プリント ・作品	・制作の様子 ・プリント ・作品	・制作の様子 ・プリント ・作品	・鑑賞の様子
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	・期末評価・・・100点法＝(提出作品の実技評価)×0.6+(学習プリント・学習活動への参加の仕方や態度・レポート・出欠席状況)×0.4 ・学年末評価・・・(1学期成績+2学期成績+3学期成績)÷3 5段階評価			

学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 半紙や墨などの消耗品は学校で一括購入するので教材費(2000円程度)を徴収する。 定期考査は行わないので、積極的に授業に参加し、作品を必ず完成させること。
-------------	--